

校訓 『高く 大きく 美しく』

教育目標

「誇り高く 夢大きく 心ころ美しく
よりよい社会を創ろうとする生徒の育成」

中村中学校

学校通信

NO.3

2021.5.12 発行

TEL 0880-34-4137 : 文責 山崎利彦

さりげない心温まる行為に心から“ありがとう”を贈ります！



少し前のことになりますが、これまでの通信で紹介できなかった、4月の心温まるエピソードを少し紹介します。

4月22日のことでした。以前勤めていた学校の保護者の方から、私の携帯に久しぶりの連絡がありました。何だろう？と思い読んでみると、次のようなメールが届いていました。

「お久しぶりです…。今朝、出勤中に車で見かけたのですが、中村中学校の男子生徒二人が歩道に散乱していたゴミを素手でかき集めて、ゴミ箱に入れていました。なかなかできることではないと思います。私たち大人でも、すごいことになっていると思っても通り過ぎます。自転車を止めて、ヘルメットをかぶったまましゃがんで、拾い集めていました。大橋通の市役所前の歩道です。何年生かはわかりませんが、ぜひほめてあげてください。」

本当にうれしい連絡でした。学校には仕事に関わる電話があっても、なかなか良いことで連絡があることは少ないのが実情です。すぐに職朝で先生方に伝え、生徒にも紹介してもらいました。そして、その日の夕方のことです。今度は本校の保護者の方から電話があり、通勤中に上で紹介したゴミの片づけをしている二人の男子生徒を見かけ、学校に伝えたいと思って電話をくれたとのこと。電話の保護者の方に詳しく聞くと、市役所前の飲食店が出していたゴミを、どうやらカラスなどがかなりつつき、大きく散乱していたようです。そこに通りかかった本校の男子生徒が、見かねて片づけをしてくれた様子です。



4月22日の朝、その現場を通りかかった車は多くあったと思います。学校に連絡をくれなくても、きっと通りかかった人は、二人の男子生徒の行動に心温まりながら職場に向かったことと思います。背力バンから間違いなく中村中の生徒ということ。汚い！と思って片付けてくれた本校の生徒に、心からありがとう！を伝えます。そして、中学生の何気ない行動に“心を動かされた人がいる”ということを記憶の隅に置いてください。人間の評価は、どこに転んでいるかわかりませんね。

学校として大事にしたいこと ～生徒全員にきちんと理解させたいこと～

上に紹介した出来事は、決して学力のことではありません。しかし、人間として大切なことですね。学校の教育活動を営むために大切なことはたくさんありますが、まず何を最優先させるか？と私に問われれば、“**生徒の安心や安全**”と答えます。

どの生徒も安心して学校生活を送ることができ、また明日も学校に来たいと思える学校。身体のみだけの安全ではなく、心の安心・安全をきちんと担保でき教育活動を営むことができる学校です。この基盤があるからこそ、生徒は前向きにがんばれ、友達と協力もでき、個々の力を伸ばすことができると考えています。勉強にもしっかり取り組めるのです。

そういう意味において、“自分がされて嫌なことは友達にはしない”という当たり前のことを徹底したいと思います。本校で誰かが嫌な思いをしているという“いじめ”の問題があったときは、嫌な思いをしている生徒の立場に立って指導をしますが、いじめをするほうにもきちんと成長できるように指導に当たりたいと思います。中学生の時期は、十分な考えもなく時として失敗することがありますが、その失敗を経て成長もしていきます。そのためには、保護者の協力も必要です。ぜひ、学校と一緒に子どもの成長を支えていただきたいと思います。

中央区球技大会（5/15・16）開催！ 選手の生徒は、中村中の代表としてのプレーに期待します！

昨年度、中止となった大会もコロナ対応を継続しての実施となります。最後までしっかり戦ってきてください。

保護者の方へのお願い ～雨天時の車での送迎について～

雨の時、保護者の方が車で生徒を送迎することがあると思います。多くの車が駐車場に入ってくると出入りに支障をきたすことから、校舎東門を入り口、西門を出口として一方通行での出入りをお願いしています。

通常は西門を閉じていますが、雨天時は開けるようにしていますので、ご協力をお願いします。